

■藤原隆信 官人，画家，歌人。似絵を開拓，「源頼朝像」「平重盛像」などの作者と伝えられ，子孫に肖像画家輩出。

ふじわらのたかのぶ

・・・・・・1142＝ 「今鏡」の作者藤原為経の子に生まれる。母は藤原親忠の娘美福門院加賀。
為義頼長臣従1143＝ 1歳：父が出家し，

母が藤原俊成と再婚したことから，和歌に長じるようになって行く。

・・・・・・1148＝ 6歳：異兄弟定家が誕生。
・・・・・・1149＝ 7歳：(鳥羽天皇の皇后)美福門院の蔵人となる。以後，順調に出世。

頼長内覧・・・・1151＝ 9歳：
・・・・・・1152＝10歳：越前守となり，
・・・・・・1153＝11歳：越前国に下向。祖父親忠辞任の後を受けて，若狭守となり，

保元の乱・・・・1156＝14歳：右馬権頭を兼る。
藤原基衡没・1157＝15歳：建設に奉仕した内裏の朔平門が竣工。
後白河院政始1158＝16歳：石清水臨時祭舞人となり，「兵範記」，
平治の乱・・・・1159＝17歳：
・・・・・・1160＝18歳：院昇殿を止められる。五節を奉り，賀茂臨時祭舞人を務めた後，美福門院の納骨に従い高野山に詣でる。
・・・・・・1161＝19歳：若狭守の任期満了。石清水臨時祭舞人。二条院丹波内侍に歌を贈る。この年，_俊成と交した「隆信集」。
・・・・・・1162＝20歳：石清水臨時祭舞人。
・・・・・・1163＝21歳：石清水臨時祭舞人。

清盛太政大臣1167＝25歳：賀茂臨時祭舞人。

後白河出家・1169＝27歳：皇太后滋子の日吉社行啓に参仕。石清水臨時祭舞人。賀茂行幸の舞人を務める。
300年ほど前に，中国で白居易が{(老人の集まり)尚齒会}を行い，日本でもすぐに真似て開催，100年後に2
回目，その150年ほど後，隆信誕生の10年前に第3回の{尚齒会}が開催されていたが，
・・・・・・1172＝30歳：この頃，正五位下。*この年藤原清輔が開催した第4回の{尚齒会}に，おそらく参加者の絵(現代の記念写真
の役割)を描くべく招かれるも，障りがあって欠席したが，
・・・・・・1173＝31歳：石清水臨時祭舞人。*建春門院の命で，常盤光長が描くことになった最勝寺障子絵のうち，廷臣らの行列図
を描く画家に抜擢され，その面貌のみを担当，突如似絵の名手として知られるようになる。

藤原頼通没・1174＝32歳：八条院の使者として九条兼実を訪問。この年以前に従四位下。
法然浄土宗始1175＝33歳：石清水臨時祭陪従。小侍従局を訪れ贈歌に，藤原成範が代って返歌。

・・・・・・1178＝36歳：
治承のケデタ 1179＝37歳：石清水臨時祭陪従。
源氏一斉蜂起1180＝38歳：石清水臨時祭陪従。
平清盛没・・・・1181＝39歳：従四位上，右京権大夫。
・・・・・・1182＝40歳：寿永百首を奉納。この年賀茂重保が開催した第5回{尚齒会}には出席したと考えられる。
後鳥羽天皇・1183＝41歳：藤原資盛邸での歌合に参加。
・・・・・・1184＝42歳：石清水臨時祭陪従。
平氏滅亡・・・・1185＝43歳：

藤原秀衡没・1187＝45歳：_院昇殿し，賀茂臨時祭の勅使となる。
・・・・・・1188＝46歳：この頃，*神護寺仙洞院似絵群を描くか。

奥州藤原滅亡1189＝47歳：
_この頃，源頼朝を描くか。

鎌倉幕府始・1192＝50歳：
・・・・・・1193＝51歳：母が死去。

東大寺再建完1195＝53歳：藤原経房邸での歌合に参加。
建久7年政変 1196＝54歳：

源頼朝没・・・・1199＝57歳：

・・・・・・1202＝60歳：*出家し，法然に帰依。
執権政治始・1203＝61歳：

新古今集・・・・1205＝63歳：_没した。